

バイオマス取組事例概要

東北

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 農村振興局長賞)

・応募主体

株式会社バイオマスパワーしづくいし

・都道府県・市町村

岩手県雫石町

・取組分野

発電(バイオガス)

取組概要

家畜排泄物・食品残渣のメタン発酵・バイオガス発電。発酵残渣と家畜糞尿固形分を堆肥化。

小岩井農牧（株）小岩井農場（飼養牛頭数約1900頭）から排出される家畜排泄物（平成18年見込み：19,000t/年）を固形物と除渣液に分離し、固形物を堆肥化（同年見込み：4800t/年）。

家畜排泄物の除渣液を、周辺地域の食品加工会社から排出される食品残渣や、雫石町内の小・中学校等から排出される給食加工残渣（同年見込み：残渣合計6500t/年）と混合し、メタン発酵処理化しバイオガス発電（同年見込み：95万kwh/年）。

生産された堆肥と液肥（発酵残渣）（同年見込み：10,000t/年）を小岩井農牧（株）小岩井農場へ販売し、バイオガス発電による電気は自家消費及び小岩井農牧（株）へ売電。

プラントは、小岩井農場内に立地しており、利用するバイオマスの一部は農場外から提供される（食品残渣）が、バイオマス変換物（電力・堆肥・液肥）は全て小岩井農場内で利用。

事業の流れ

